

□ 教科書 P.37~41 を見ながら実験のやり方や注意点を学ぼう

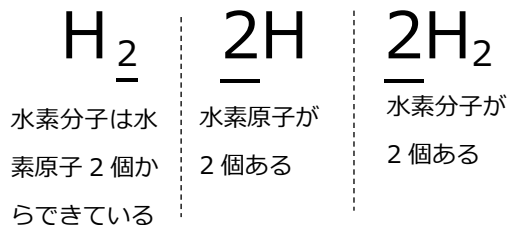
2 化学反応式

・化学変化のようすを化学式を使って表した式を (① ) という。

○つくり方

- ① 反応前の物質を式の (② 右・左) 側に、反応後の物質を (③ 右・左) 側にかき、矢印は左から右へ
- ② モデルと化学式で表す
- ③ 化学変化の前後で、(④ ) の種類と数が合うように、係数をつけて物質の数を調整する。

数字が表すこと



教科書の例を参考に水素と酸素の化合を、①~③の手順でかこう

① 物質名 ( ) + ( ) → ( )

② モデル図  +  →

化学式 ( ) + ( ) → ( )

③  +  →

化学式 ( ) + ( ) → ( )

したがって、化学反応式では

となる。

○①~③と同様にして、水が分解で水素と酸素になる化学変化をモデルと化学反応式、両方で表そう